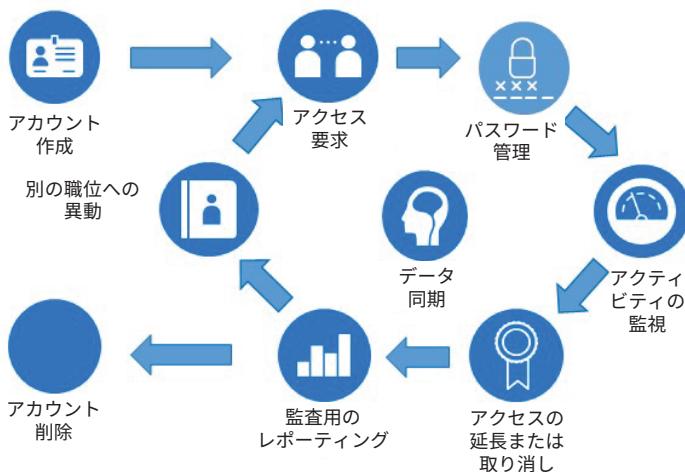


NetIQ Identity Governance and Administration

NetIQ の ID ガバナンスおよび管理 (IGA) ソリューションは、組織によるアカウントのライフサイクルや情報リソースへのアクセス権の管理をサポートします。



ビジネスの世界的なデジタル化とハイブリッド IT インフラストラクチャの普及により、ユーザー資格情報と情報システムへのアクセスを管理することが、解決すべき最も重要な課題であると同時に解決困難な課題の1つとなっています。NetIQ by OpenText™ ソリューションは、ユーザーの資格情報およびアクセスの完全な自動管理を実現する、包括的なソリューションを提供します。アカウントを最初に作成した時点から、そのライフサイクル全体を通じて、組織の全情報システムにわたってユーザー属性が同期されます。権限を持つ従業員は、ユーザーのアクセス権を定期的にチェックできます。ワンクリックで、現在の権限を拡張することも不要な権限を取り消すこともできます。アカウントを削除すると、その従業員のすべてのアクセス権がすべての情報システムから瞬時に失効します。そのため、退職済みの従業員に属する資格情報が不正使用されるリスクが低減されます。



ソリューションの主な機能

資格情報の同期

従業員を採用し、そのデータが人事システムに入力された瞬間から、NetIQ Identity Manager by OpenText は、一元化されたアカウント情報ストレージシステムである Identity Vault 内に対応するレコードを作成します。その後、NetIQ Identity Manager に接続されているすべてのシステムにユーザー資格情報が自動的に転送され、それぞれのシステムにアカウントが作成されます。その結果、新規従業員は勤務初日から組織内の必要なすべての情報リソースにアクセスでき、職務を遂行することができます。将来的にユーザーの資格情報を変更する場合にも(定期的なパスワード変更など)、そうした変更がすべての接続システムに正確に反映されるよう、NetIQ Identity Manager が確実に処理します。従業員が別の職務に異動する場合、その従業員のアクセスレベルの見直しが必要になる場合があります。

NetIQ Identity Manager では、ユーザーに新しいパーミッションを付

与し、必要に応じて古い権限を取り消すプロセスが自動化されています。従業員が退職した場合、その従業員の資格情報は人事システムから削除されるか、非アクティブとしてマークされます。NetIQ Identity Manager がすべての接続システムにおいて適切な変更を自動的に行い、その従業員のアクセス権を取り消します。その結果、上層部の決定から数秒以内に、そのユーザーは組織の重要なシステムにアクセスできなくなります。そのため、退職した従業員が重要な企業情報にアクセスできることに伴うリスクを回避できます。

ロールベースの管理

ソリューションの柔軟性を高めるため、NetIQ Identity Manager では、ユーザーのアクセス権はリソースに直接適用されるのではなく、特定のロールを介してリソースに割り当てられます。ロールのリストは、会社の組織構造(部門、課など)を反映しているものもあれば、特別な構造(組織の主要プロジェクトに関連付けられているなど)になっていることもあります。NetIQ Identity Manager では、1人のユーザーが1つ以上のロールを持つことができます。アクセス権は特定の1つのロールに付与されます。これにより、監査担当者に対する透明性が確保されるとともに、組織の情報リソースへのアクセス管理が容易になります。

ユーザーセルフサービス

NetIQ Identity Governance and Administration (IGA) by OpenText は、日常的な管理作業を最小限に抑えながら、アクセス権提供時のビジネスロジックが複雑化している組織のニーズに応えます。NetIQ には、関係者から権限の承認を得ることができる承認ワークフローを作成するためのツールが組み込まれています。また、記述された手順に基づいた役割と権限の委任もサポートされています。

NetIQ Identity Manager に含まれている NetIQ Self Service Password Reset by OpenText は、IT サービス部門の負担を軽減します。このモジュールを使用することで、組織はユーザー パスワードに関連する必須ポリシー(パスワード変更の頻度やパスワードの複雑さなど)を実装することができます。

ユーザーはセルフサービスポータルを使用して、社内ディレクトリ内の自分の個人情報を表示および編集することができます。ディレクトリに入力された情報は、NetIQ Identity Manager と同期しているすべてのシステムに反映されます。そのため、社内スタッフの管理業務の負担が軽減されるとともに、ユーザーは自分の社内プロファイルを最新の状態に保つことができます。セルフサービスポータルでは、プロファイルのアップデートのほかにも、従業員が組織のリソースカタログで必要なリソースに対する自分自身または部下のアクセスをリクエストできます。リクエストを作成すると、NetIQ Identity Manager で事前定義された承認ワークフローに沿って送信されます。

The screenshot shows the NetIQ Identity Manager dashboard. The top navigation bar includes links for Dashboard, Application, Tasks, Access, People, Administration, and Configuration. The 'Home Items' section contains six tiles: HelpDesk Ticket Creation Form, Request Access, Dashboard, My Approvals, My Request History, and My Access. The 'Administration' section contains six tiles: Data Collection Service, Manage Teams, Create User, Manage Roles, Manage Resources, and Navigation and Access.

アクセス権の監査

NetIQ IGA モジュールは、アクセス権を一元的に監査できるように設計されています。このモジュールにより、組織内で誰が何にアクセスできるのかを明確に把握できます。定期的な認証を利用して、権限を持つ従業員はさまざまなリソースに対する既存の従業員のアクセス権を更新したり、必要に応じて取り消したりすることができます。これにより、組織内に最小権限の原則を実装して、企業リソースに対する最小限のアクセス権のみをユーザーに付与できるようになります。

This feature allows users to compare access rights across various applications. It lists applications on the left and users on the right. A grid shows whether each user has access to each application, indicated by an 'X'. At the bottom, there is a 'Request Changes' button.

	Sam Oliver	Ellie Grace	Arun Patel	Cathy Cox
Google apps	X			X
Adobe creative cloud		X	X	
GotoMeeting		X		X
GotoTraining		X		X
GotoWebinar			X	
NSS Forums			X	
SAP User Access Report			X	
SAP Account ownership				
SalesForce Community Cloud				
Salesforce Sales Cloud				
VersionOne		X	X	
MicroFocus intranet		X	X	
Google Analytics				X
Security Senses				X
Harvard Business Review				X
Travelflow 360				
Leadership dashboard				
Weekly KPI review				
Identity Governance overview report		X	X	

NetIQ IGA のもう 1 つのメリットは、既存のユーザーアクセス権を比較確認できることです。これにより、パーミッションの付与や変更を行うプロセスが簡素化されます。また、所定の従業員サンプルを視覚的に表示することもできます。

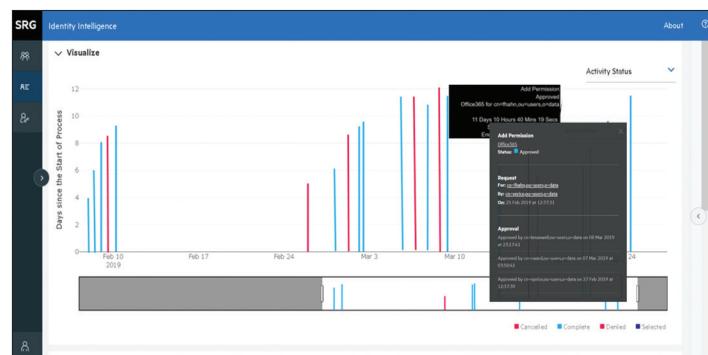
NetIQ IGA ソリューションを使用すると、職務の分離 (SoD) (1 つのプロセスにおいて重要なビジネスアクションの実行は 2 人以上で行わなければならないということ) を実現するためのポリシーを設定することができます。これにより、意図的な悪用と基本的な人的ミスの両方のリスクを最小限に抑えることができます。権限共有の要件は多くの規制文書に含まれており、監査担当者は準拠しているかどうかを頻繁にチェックします。NetIQ IGA の設定に応じて、過剰な権限の要求に対しては拒否するか、特別な承認を必須とします。

レポーティングシステム

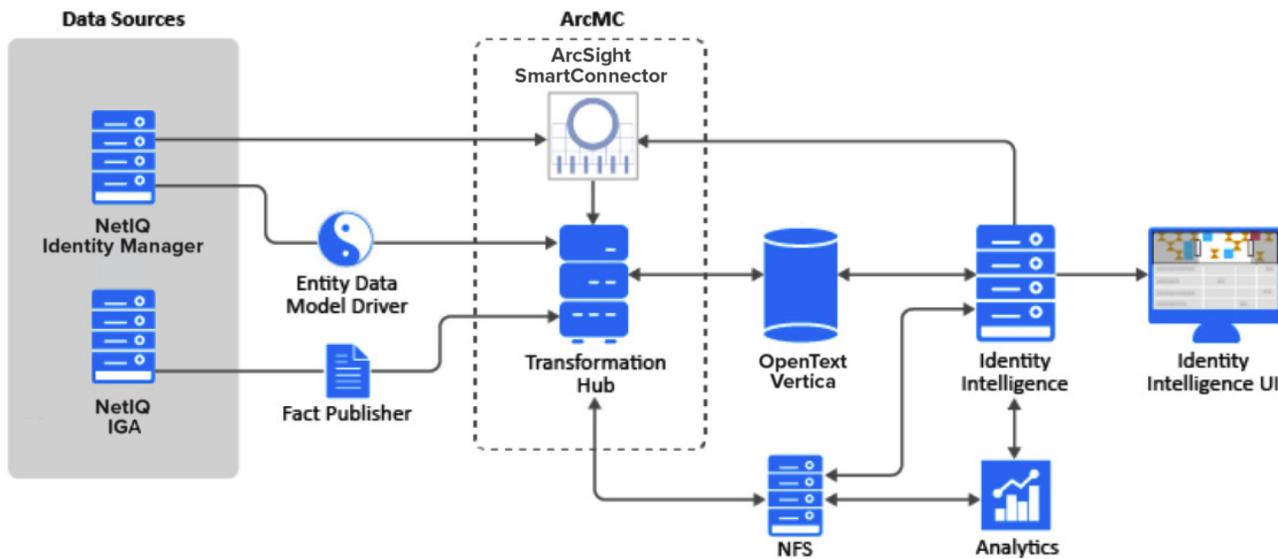
NetIQ IGA は、組み込みの IGA ソリューションでビジュアル分析とレポート用に Identity Intelligence モジュールと Identity Reporting モジュールを提供しています。

Identity Intelligence は、組織内の NetIQ IGA プロセスの分析に使用するために設計されています。用途の代表的な例として、次のものがあります。

- **プロセス違反の検知と対応：**モニタリングして予期しないイベントや例外を検知します。
- **監査の準備：**情報を収集し、業界の要件やビジネスルールに準拠していることを検査機関に実証します。
- **NetIQ IGA プロセスの微調整：**割り当てられたロールの類似性とアクセスレベル付与の傾向を分析します。ボトルネックと潜在的な問題を特定します。
- **内部調査の支援：**特定の時点で誰が何にアクセスできたかを特定します。



Identity Intelligence のアーキテクチャは、OpenText™ Vertica™ 分析データベースを基盤としています。これにより、コンピューティングリソースが最適な形で使用されるため、分析レポートの作成に際して高いパフォーマンスが得られます。



Identity Reporting モジュールは、同期している属性のリストや、接続システムの何に何が関連付けられているか、パスワードの設定ポリシーなど、NetIQ IGA システムの構成に関するレポートの作成と送信に使用するために設計されています。

ソリューションの設計

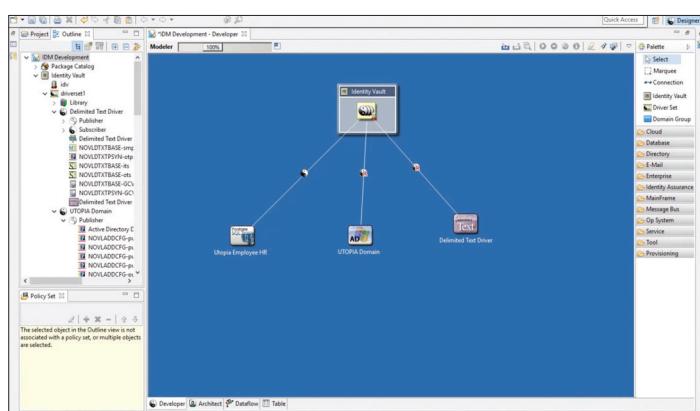
NetIQ Identity Manager には、組織における NetIQ IGA ソリューションのプランニング、構成、実装を簡素化するためのユーティリティが含まれています。NetIQ Identity Manager Designer は、そうしたユーティリティの1つです。これはアーキテクト向けに設計されたもので、IGA ソリューションの全コンポーネントをその相互作用を示す図と

ともに視覚化することができます。また、社内の本番環境に実装する前に、ソリューションを文書化し、事前テストを実施することができます。

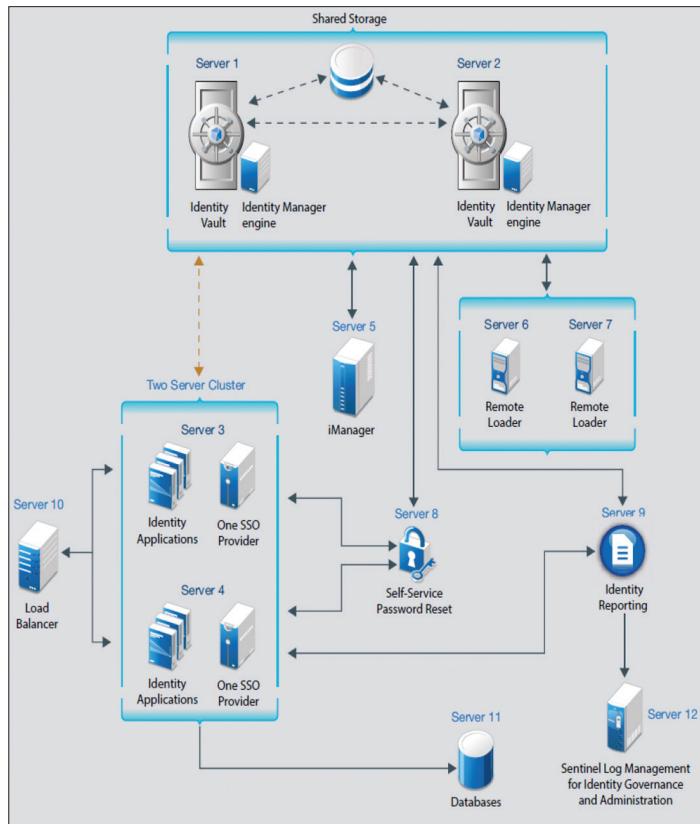
データダイアグラムの作成、データ収集用のビジネスロジックの決定、接続システム間のフィールド対応の設定など、IGA ソリューションの準備にあたっては、別のユーティリティである NetIQ Analyzer by OpenText for NetIQ Identity Manager から取得したデータを活用します。

スケーラビリティと耐障害性

このソリューションの重要なコンポーネントはすべて、フォールトトレラントモードでサポートされます。つまり、ある時点での IGA サービスのクラスターノードの1つで障害が発生した場合、対応するサービスがバックアップノードで自動的に開始されます。第一に触れるべき点として、一元化された資格情報ストレージシステムである NetIQ Identity Vault by OpenText の組織的な機能により、NetIQ IGA ソリューションは高レベルのスケーラビリティを提供します。これにより、数十億のオブジェクトを管理できます。第二に、NetIQ IGA ソリューションは、水平方向のスケールアウトと主要コンポーネント間のロードバランシングをサポートしています。



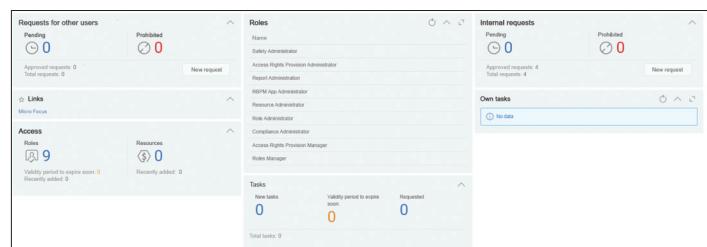
また、ほとんどのコンポーネントでクロスプラットフォームがサポートされていることも注目に値します。サポートされるプラットフォームとそのバージョンの詳細については、<https://www.microfocus.com/ja-jp/documentation/identity-governance-and-administration/>にある技術文書を参照してください。



NetIQ Identity Governance の設定に応じて、システムは過剰な権限の要求に対しては拒否するか、特別な承認を必須とします。

ローカライゼーション

OpenText™ はグローバル企業として、多数の製品でローカライズ版のユーザーインターフェイスを提供しています。



Identity Reporting モジュールは、同期している属性のリストや、接続システムの何に何が関連付けられているか、パスワードの設定ポリシーなど、IGA システムの構成に関するレポートの作成と送信に使用するために設計されています。

NetIQ by OpenTextについて

このたび、OpenTextによる、CyberResを含むMicro Focusの買収が完了しました。両社の専門知識の融合によって、セキュリティ製品/サービスの提供が拡張され、権限とアクセスの制御の自動化を通じて、アプリケーション、データ、リソースへの適切なアクセスを確保することにより、お客様の機密情報の保護を支援します。NetIQ Identity and Access ManagementはOpenText Cybersecurityの一部であり、あらゆる規模の企業やパートナーに包括的なセキュリティソリューションを提供します。

お問い合わせ

www.opentext.com



opentext™ | Cybersecurity

OpenText Cybersecurityは、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検出、復旧対応、調査、コンプライアンスに至るエンドツーエンドの統合プラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurityのお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。